

岡山市区づくり推進事業助成申込書
(地域活動部門)

捺印

平成30年1月15日

岡山市長 大森雅夫

フリガナ ミシマフレイノサトホテルヲマモルカイ
団体名 箕島ふれあいの里ホテルを守る会
所在地
連絡先
フリガナ
代表者

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ㊦ 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	ホテルと環境を守り、憩いとふれあいの場づくり
事業実施小学校区・地区	岡山市南区箕島 箕島小学校区
事業実施回数	新規・ (継続) 2 回目 / 【 29年度から】
課題	※地域の実情と解決をはかりたい課題、事業実施の必要性について記載してください。 1. 県南では数少ないホテルの生息地として「箕島ふれあいの里」付近が、小規模ながら現存しています。減少傾向にある為に、引き続きの環境整備の必要と現在10匹前後の個体数を、将来、安定的に鑑賞が楽しめるには30匹以上に増やしたい。 2. 妹尾・箕島地区の風光明媚な下池一帯を気持ち良く利用してもらうためには、定期的に維持管理する組織とそれに要する経費予算も必要である。
事業の目的	※事業を実施する「目的」を記載してください。 当地区の貴重な自然遺産とも言える「ホテルの里」の復活と、風光明媚な下池一帯がビオトープ(動植物が恒常的に生活できるエリア)として整備された環境を、未永く維持管理して、保育園児の園外保育・小学生の環境学習・コイのぼりフェアー・ホテル観賞会・ウォーキング・釣り・野鳥観察・タケノコ掘り・花見などを通して、地域住民の憩いとふれあいの場づくりに資することを目的とする。



事業の内容	※具体的に実施する活動内容を箇条書きで記載してください。 1. ホタルの個体数を増やす為に、2回目の幼虫又は成虫を放流する。 2. ホタル生息川への安定的な水量確保に努める。 3. ホタル幼虫の餌を増やす為に、下流のカワニナ・タニシを採取して生息川に放流する。 4. 下池一帯の土手の草刈り・草枯らし・池のゴミの回収・遊歩道の清掃の実施。 5. ふれあいの里の環境美化の為、草刈り・花植え・水やり・草枯らしの実施。 6. ひょうたん池にいろんな水蓮を植える。
期待される成果・目標	※事業実施することで、変化すること、期待している成果、事業実施後にどこまで到達しておきたいか「目標」を記入してください。 1. ホタルの個体数を増やして多くの方に観賞を楽しんでもらえるようにする。 2. 公園環境整備により保育園児等が園外保育がより有効活用されるようにする。 3. 小学校児童等のトンボの採取・ホタル観察等の環境学習がより有効活用されるようにする。 4. 遊歩道環境整備によりウォーキング・釣り・野鳥観察が快適に出来るようにする。 5. 定期的な清掃により、ゴミのポイ捨ての抑止効果を期待する。 6. 以前より在住の住民が、あらためて郷土の誇りと再認識してもらえるようにする。 7. 箕島地区は最近、若い転入家族が多く、誇れる郷土愛の醸成になるようにする。
企画などの工夫	※通常、日常的に実施している事業をそのまま提案された場合は、対象とならない可能性があります。区づくり推進事業の申請にあたって、何をどう変えたのか、どこに活動の目的や対象をしばったのかなど、企画にあたっての工夫をお書きください。 1. ホタルの個体数を増やし、30匹以上になれば「ホタル観賞会」を企画開催する。 2. 下池南土手の竹林防止の為、町内子供会による「親子タケノコ掘り体験」を実施する。 3. ひょうたん池に水蓮等の水草を常時植え、各種トンボが飛ぶようにして、保育園・小学校の児童に動植物の環境学習の案内をする。
協働する団体等	※事業実施にあたり協働することを想定している団体・企業・大学等の名称とその団体間の役割分担について記載してください。あるいは提案団体が既に協働組織となっている場合は、事業実施メンバーの備考欄に団体名をご記入ください。 1. 砂場町内会 : 活動参加とホタル観察会実施案内を会報に掲載依頼。 2. 妹尾公民館 : ホタル調査と水質調査をして頂く。 3. 保育園・小学校 : ホタルの幼虫放流体験・動植物の環境学習の場づくりの案内。 4. コミュニティ協議会他 : コイのぼりフェア開催前の環境整備とのぼり立て手伝い。 5. 農業水利土木員 : 管轄地の草刈り・川床整備などを共同実施。 6. 岡山市公園協会 : 花の提供と花植え指導 7. 地元消防団 : 刈草消火活動協力
事業の情報公開	※区づくり推進事業は、広く区民への情報提供することが義務づけられています。地域住民をはじめ区民への情報提供、あるいは情報公開の仕方についてご記入ください。 1. ホタルの観察案内チラシを保育園・小学校・町内会・公民館等に配布。 2. ホタルの観察案内を4月町内会会報に掲載してもらう。 3. 地区広報誌の「箕島だより」「公民館だより」にも掲載してもらう。 4. 小学校便りに小学生環境学習状況の掲載。 5. 山陽新聞にホタルの生息地情報と周辺環境整備取り組み状況掲載。

学区・地区への広がり	※小学校区・地区より狭い範囲（単位町内会等）での事業を実施される場合は、学区・地区等への活動の広がりや課題の共有などをどのように進めていきますか。取組方について記載してください。 ※活動の場所は砂場町内会の一部の所であるが、ホタルの生息・ビオトープの環境は広く妹尾・箕島地区の財産とも言える場所と認識して活動しているもので、広がり等は前述記載の通りで進めていきます。
前年度からの見直し・拡充点	※継続事業で申請される場合は、前年度の事業の成果を踏まえ、今年度の事業の改善・拡充点を記載してください。また審査会での助言・コメント等について改善・拡充したことを記載してください。 29年度初めての取り組みの成果として 1. 4月に池土手の竹林化防止の為、子供会による「親子タケノコ掘り体験」を実施 2. 5月に箕島小学校3年生を対象にホタルの生態の勉強会とふれあいの里に花植えを実施。 3. 11月に箕島小学校3年生を対象にホタルの幼虫の放流と花植えを実施 好評につき次年度も改善して実施。
次年度以降の予定	※今年度の事業を受けて次年度以後どのように活動を展開していくか、また資金の確保をどのように進めていくかをご記入ください。 ① 次年度以後の活動計画 初年度の反省を踏まえて、次年度以降もより充実した内容で活動していきたい。 ホタルの幼虫放流の成果が現在未定ですが、5月の観察会で成果をみたい。 成果があまりがなければ、餌となるカワニナ等の放流を増やすなどと、専門家による指導による生息環境をより改善して、後一回のみ幼虫放流をしたい。以後は現状の数を根気よく増やす努力をしたい。 ②資金の確保について ☐ 次年度も区づくり推進事業を申請する予定 ☒ (1) 年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 資金確保の具体的な方策： 箕島保育園 農業水利土木委員 連合町内会 民間企業などからの協賛金
その他PRしたい点	現在は小規模で、近所の有志で立ち上げて活動していて、積極的にPRしたことはなかったが、今後は協働関係団体と協働しながら、ホタルの幼虫放流・ホタル観察会・タケノコ掘り・ゴミ拾い・ビオトープの動植物の観察案内等積極的にPRしていきたい。

事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月日	活動内容
4月	● 総会開催 ● コイのぼりフェア前の下池周辺一帯の草刈り・下池のゴミを回収 ● コイのぼり立ての手伝い ● 下池南土手の竹の駆除を兼ねた「タケノコ掘り」を町内子供会と実施 ● ホタル観察会の案内チラシを複製し保育園・小学校・町内会・公民館に配布 ● 同上の案内を4月の町内会会報・箕島だより・公民館だよりに掲載依頼 ● ホタル生息川・溝の清掃と水流のチェックを毎月随時チェック
5月	● ホタルの生態勉強会 小学校3年生対象実施 ● ホタル観察会前にふれあいの里一帯の草刈り・草枯らし・刈草焼却し準備 ● ホタル観察会と飛翔調査5/10～5/末の間 メンバー参加して案内 ● ひょうたん池に水連植え
6月	● 下池・ふれあいの里周辺草刈りと遊歩道に垂れ込みの竹・ウルシの木伐採と草枯らし
7月	● 梅雨明け頃、下池・公園周辺の草刈り・草枯らし全般実施 ● 遊歩道に垂れ込みの2回目の竹の伐採 ● ひょうたん池の藻の清掃
8月	● ひょうたん池の藻の清掃 ●
9月	● 2～3回に分けて下池・ふれあいの里一帯の草刈り・草枯らし・ひょうたん池、川の清掃 ● 上期の反省会と下期事業打合せ会議
10月	● ホタル生息の川・溝の清掃 ● ふれあいの里一帯の草枯らし
11月	● ふれあいの里 コスモス株刈りと花植え場所の整地 ● 下池・ふれあいの里一帯の草刈り・草枯らしと池・川の清掃 ● 藤棚剪定 ● 小学校3年生とメンバーによるホタルの幼虫放流とひょうたん池周辺に花植え
12月	● 刈草の焼却 ● 花の水やりと草取り随時 ●
1月	● 花の水やりと草取り随時
2月	● 下池・ふれあいの里一帯の草刈り ● 来年度の事業計画の企画会議
3月	● 公園周辺の歩道草枯らし ● 3月末の～4月初 雨の夜にホタルの幼虫上陸を観察 ● 総会資料準備

収 支 予 算 書

◆ 収 入

(2018年1月10日現在決算見込)

単位:円

項 目	前年度決算 (決算見込可)	予 算	備 考
岡山市補助金	137,900	90,000	(100 円未満の端数切捨て)
実施団体負担金			
参加者負担金			
協賛金	70,000	90,000	
寄付、他収入			
参加者立替金			
計	207,900	180,000	

◆ 支 出

単位:円

費 目	前年度決算	予 算	備 考
消耗品費	65,853	50,000	草刈機交換刃代1,500×10人 除草剤(ラウンドアップ)代13,100 プリンターインク代6,458×2回 ホタル案内チラシ用紙代1,000 水蓮花代2,000 水中長靴代 3,000×2
食糧費	13,347	10,000	お茶代@88×延べ人員114人
燃料費	18,524	16,000	草刈機・チェーンソー燃料代 1000×16回
原材料費	106,326	100,000	ホタル幼虫代400匹程×@250
保険料	3,850	4,000	草刈り時傷害保険料代 @350×男性11名
計	207,900	180,000	

◆ 概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	希望する	希望しない
-----------	------	-------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

注①：前年度決算額が確定してない場合は、見込み額を記入してください。

注②：支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・旅費交通費・通信運搬費・謝礼金・会場使用料・保険料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。

平成30年1月10日